はじめに……9

1● 大江・岩波裁判 17

控訴審判決……18
大江・岩波裁判の論点……21
沖縄プロジェクト……34
被告は「沖縄戦の真実」……39
「集団自決」は「殺意なき虐殺」……42

2● 「集団自決」と教科書検定 53

三・三〇ショック……54
書き換えられた教科書……58
教科書問題ふたたび……67
「集団自決は殉国の死」……70
国会論戦のテーマに……73
幻の「沖縄条項」……80

3● 高まる抗議 85

六・九県民大会……86
文科省が仕組んだ……90
門前払い……94
訴訟は山場へ……96
助役の妹の新証言……102
証人の前提欠く二人……108
沖縄出張法廷……111

4 ●国動かした島ぐるみの怒り 115

超党派の県民大会……116
歴史歪められた「現場」から……125
空前の参加者……130
勇気もらった執筆者……131

5 ●「玉砕」の島 139

a 座間味の「集団自決」

父の面影探して……140
兄二人の無念……144
「軍命」はっきりと……147

手榴弾は日本兵から……155
校長先生も……160
大和馬の壕で……165
投降許されず……169

b 渡嘉敷の「集団自決」

軍命で一か所に……175
玉砕場から脱して……184
スパイとして処刑……191

6● 大江・岩波裁判勝訴

矛盾だらけの梅澤氏本人尋問……198
『沖縄ノート』パラパラとだけ……204
大江さん、タテの構造問題に……205
訂正申請……210
大江・岩波裁判結審……213
慰霊の日に「朗報」……217
「汚名」晴れた……222

7● 控訴審

相変わらずの不備……226
「決定的な新証人」……228
エスカレートする「秀幸証言」……233
自壊する「秀幸証言」……237
紙一重で「集団自決」免れた……243
「玉砕」訓示のあった慶留間島……254
ふたたび勝訴……262

8● 天皇の軍隊

なぜ援護法が争点に……270
援護法への批判……273
「天皇教」と「命どぅ宝」……275
思い引き継ぐ……283
教科書問題はどこへ……287
「つくる会」教科書合格……292
「超党派」の思い……294
おわりに……299